

銀座の空が好き。
朝の空気は特に爽快。
小さい頃は両親と浅草から銀座線に乗ってよく来ていた。
今は母と訪れる。
今日は待合せより随分早く来てしまった。
交差点のカフェに入り、ぼんやりと空を見ていた。
向かいにあるクラシックな建物が朝日に映えている。
他の街とは違う、そう思う。
だんだんと目覚めていくように人と車が行き交いはじめる。
気がつくと、母からメールが届いていた。
「銀座線のコンコースにいます」
カフェを出るとガラス張りの入口が目に入る。
階段には木陰が映っていて、
ちょっぴり浮き浮きしながら降りていく。
コンコースは外光が差し込む、やさしい空間だった。
よく見ると膜の透過光だ。やわらかな光が心地いい。

結構な人がある。
海外からの旅行者も見られる。
新しくできたインフォメーションのようだ。
そこに母を見つけた。
最近はどこで調べてから散策するらしい。
アート作品も紹介されていて、
午後からはミニコンサートもあるらしい。
「ふ〜ん」画廊がこんなにあるんだと思った。
母とあれこれ云いながらピックアップした。
あちこち回り、交差点にいとと雨が降り出した。
オレンジ色に染まる街並みを見つけたけれど仕方がないと思った。
丁度メトロの入口にいたのでそのまま入った。
すると、そこにはやわらかな陽だまりがあった。
どうやらコンコースは
太陽の光とシンクロした演出をしているようだ。
以前に見た美しい風景が浮かぶ。
少し後ろ髪を惹かれる想いで、母と分かれた。
ホームに降り、少し落ち着いた。
1日歩いて疲れていたはずなのに気分は軽い。
そこにレトロデザインの車両が入ってくる。
一瞬にして懐かしい思いに包まれた。
今度、父と銀座しようかな。

ユーザー像
30代初め。夢の実現のために単身渡欧、現在も格闘中。
出張で時々日本に帰っているが、実家には帰っていない。



A:コンコース

The Other Sky

銀座の魅力は通りや路地の多様性にあり、伝統と最先端の中でいつも刺激的で、新たな発見を楽しむことができる街である。昼と夜の変化はさらなる街の魅力を引き出す。そこには日中の太陽光と夜の明かりにより、刻々と移り変わる街並みがある。

銀座は空の広さを感じながら、歩いて楽しい街である。その楽しさが地下にも続くように、「1枚のレイヤー」が地下にも光を届け、地上と、空をつなぐ。

ガラスのエントランス～膜の天井

自然の要素をモチーフにグラフィックプリントされたソーラーパネルが配置されたガラス屋根は、自然環境への配慮と同時に、太陽光によって落ちる影に触れて自然を楽しめる仕掛けになっている。

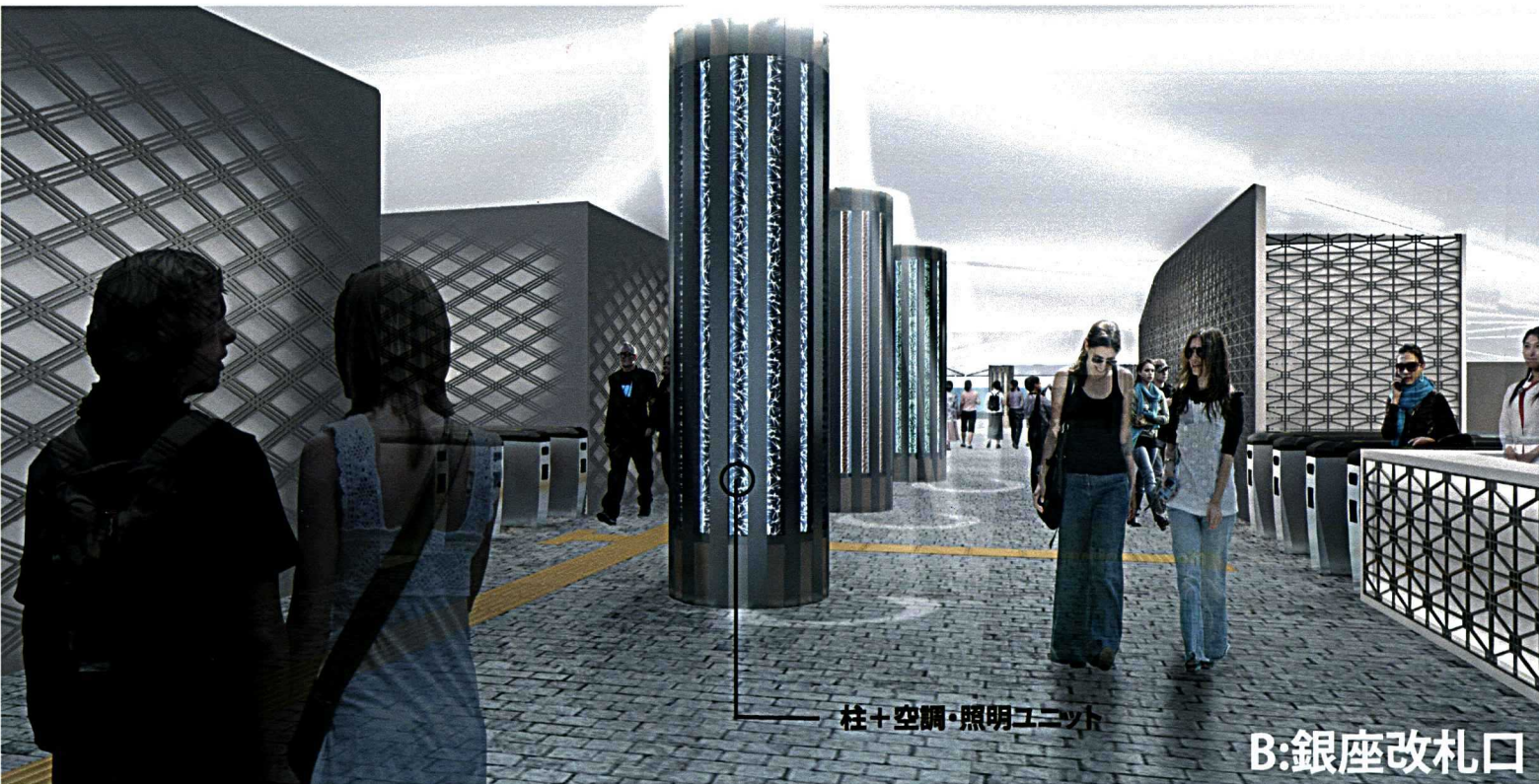
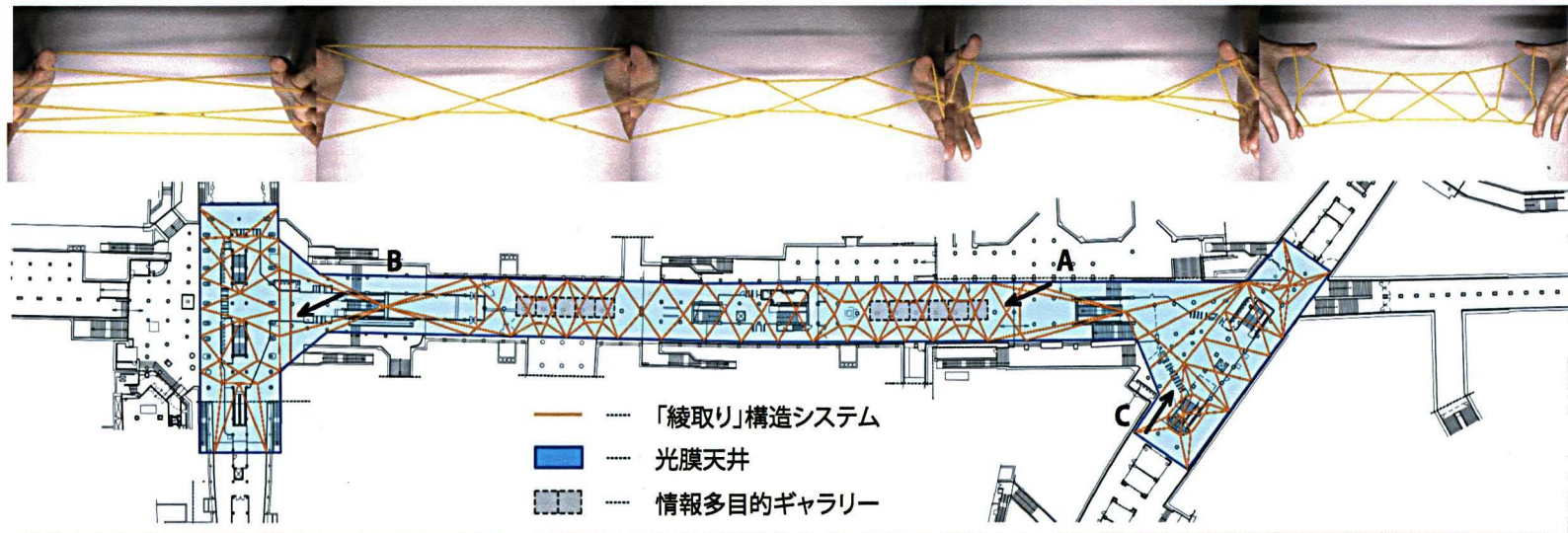
地下では、「綾取り」を構造システムとして取り入れ、手と手でつなぐ日本らしい温もりを併せ持つ、軽快でやわらかな膜がやさしい空間をつくる。軽量素材による安全性の確保と、太陽光とシンクロした光の変化で人を守り、人を楽しませる。

「ギャラリー」のような駅

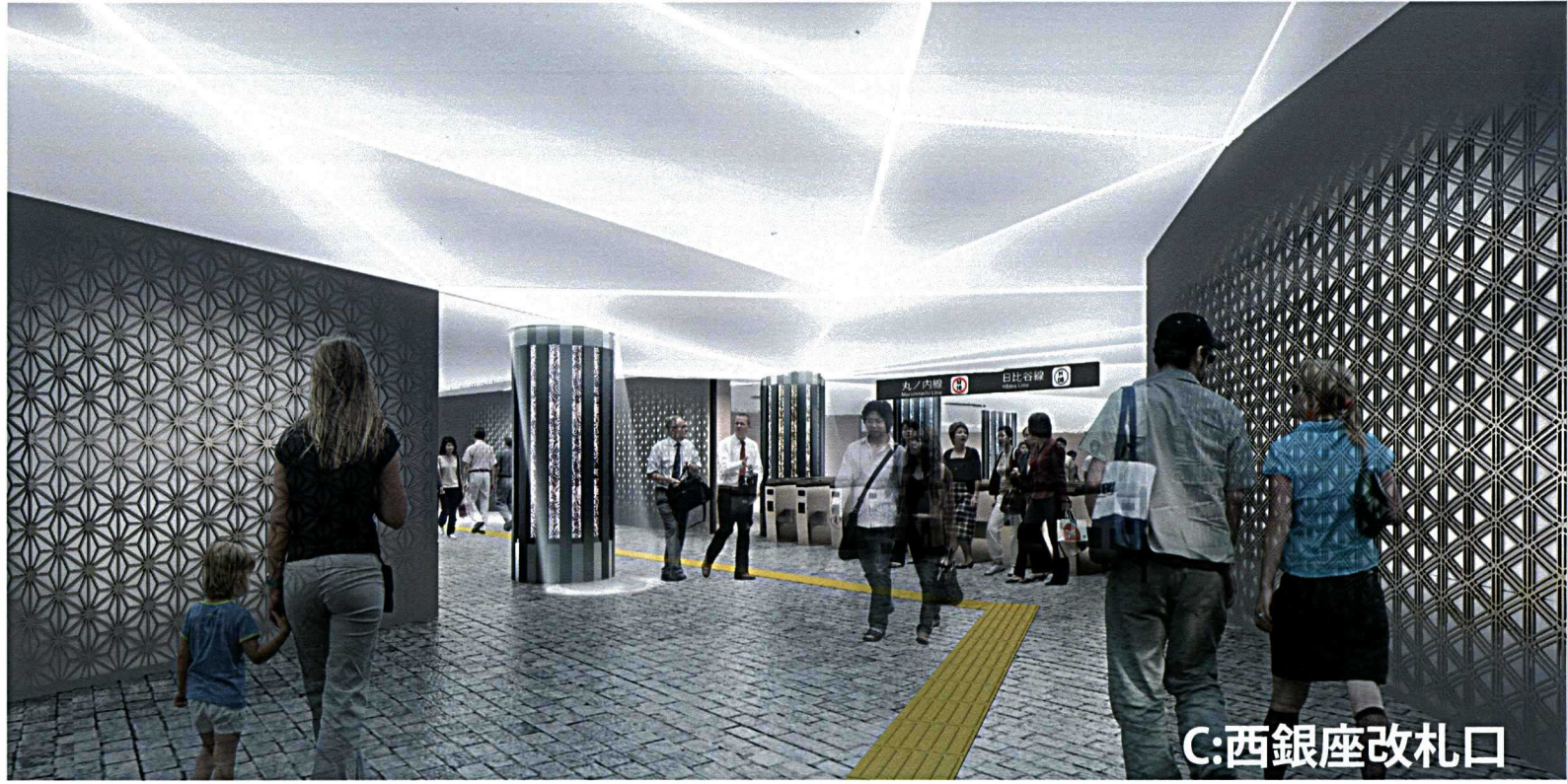
銀座の多様な情報をスマートに集約させる「ディスプレイスライディングウォール」は空間のサイズや開口を自由にコントロールし、平日は移動性を重視し、休日はギャラリーのように人を楽しませる新しい情報発信システムとなる。積極的に街のコミュニティと連動させ、街での豊かな経験を提供する場を提案する。

江戸組子・江戸小紋デザイン

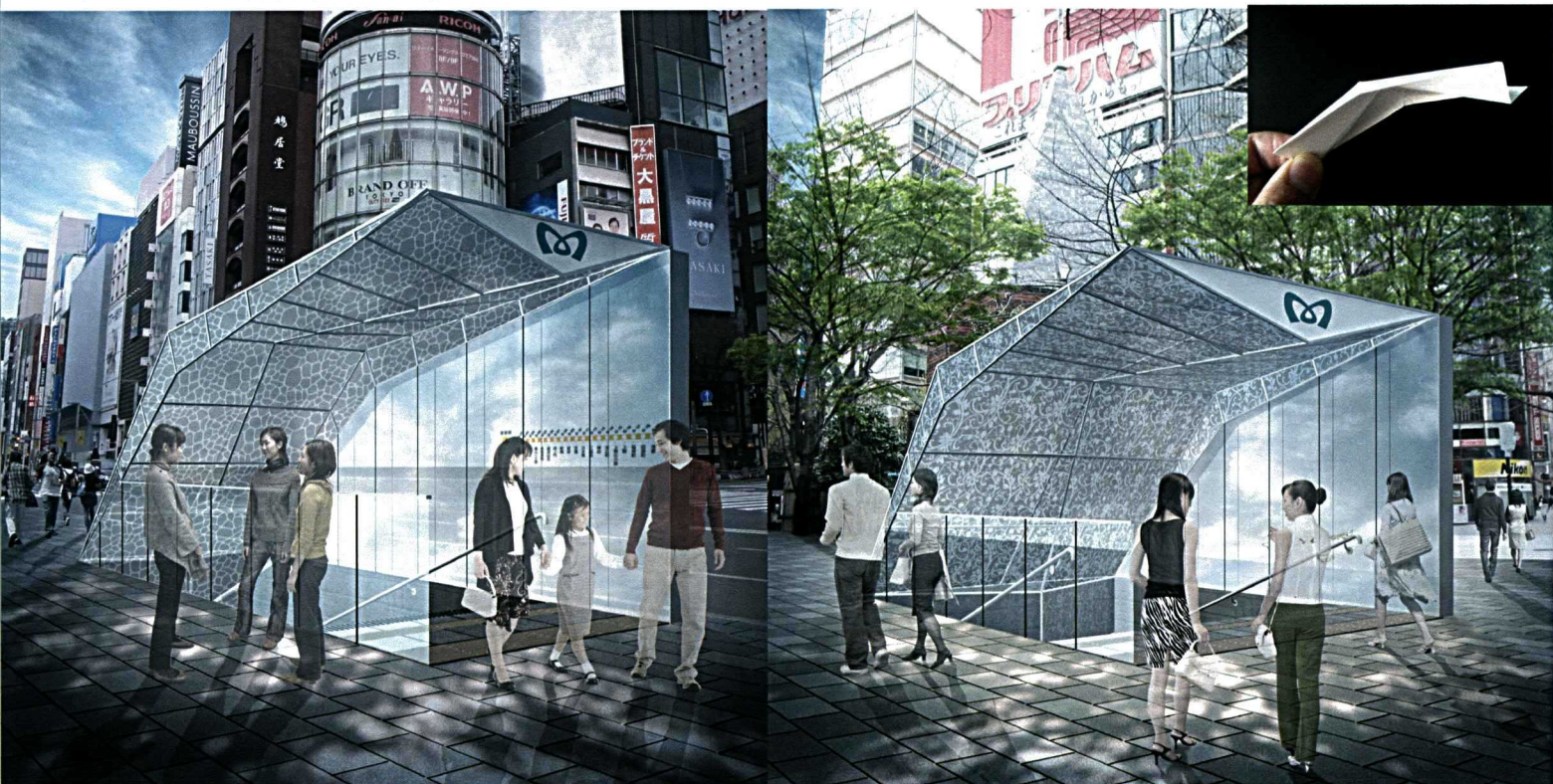
江戸組子や江戸小紋の日本の伝統的な美意識を表すデザインを現代的な空間に融合させる。様々な表情を持つ江戸組子を照明と組み込まれた壁面に利用したり、江戸小紋を空調・照明ユニットとなる柱の内部に一体化させ展示したり、日本の技術を表現する。



B:銀座改札口



C:西銀座改札口



MTR-1066